

2010.3.3 「予算委員会に遅刻する民主党大臣 たるんでいるぞ！」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。

今、予算委員会が終わったばかりです。今日は、テレビ中継がある中で、政治とカネの問題について鳩山総理に、また小沢幹事長の問題について質問してきました。

本来、予算委員会の開会は8時50分の予定でした。9時からテレビを見ておられた方はご存じかもしれませんが、開会が20分ほど遅れてしまいました。その原因は、民主党の閣僚である、原口大臣、前原大臣、仙谷大臣の3人の大臣が5～10分ぐらい遅れて来られたからでした。自民党の政権時代にはこのような事は一度もありませんでした。衆議院で予算が通ったら、もう参議院の審議はしなくていいと考えているとしか思えないような、非常に緊張感を欠いた態度です。その上私が恐れ入ったのは、遅刻をしながら、原口大臣は御自分のツイッター（twitter）に書き込みをしていたことです。それが8時52分でした。そして福山副大臣も8時58分頃に、ツイッターに書き込みをしていました。ツイッターに書き込みをするのと国会に出席するのと、一体どちらが大事だと思っているのでしょうか。

前に私は鳩山内閣を、子供内閣と批判しました。その言葉の通り、自分達の置かれている立場、その職責の重さというものが全く理解できていません。これには我々自民党だけではなく、与党の民主党の参議院の方も非常に立腹しています。参議院自体を舐めきっているではないか、参議院として与野党問わずこの大臣の失態に対して、また民主党政権の緊張感の無さについて、何らかの処分を下すようにしなければならないと思っています。

今日、私は鳩山総理に様々な質問をして参りました。鳩山総理が母親からの資金提供を知らなかったということはありません。知らなかったということをお口実にして、贈与税を払うことで自らの責任を免れようとしているのです。これは贈与ではなく、お母さんからの献金そのものです。選挙に出た当時からずっとお母さんの支援を受けてきた。ところが、支援されたお金が毎年2億円近くになると、完全に量的規制オーバーで公民権停止になるだけでなく、制限額を超えた分は全て国に没収されます。政治資金規正法にはそのようなことが明確に書いてあるのです。この最悪の事態を避けるために、恐らく弁護士と相談をして贈与ということにしたのだと思います。詳しくは私の質問を、インターネットなどでご覧いただければご理解いただけたと思います。

まだまだこの問題について、引き続き追及してまいりますので、どうぞ皆様方の御支援よろしくお願い申し上げます。有り難うございました。